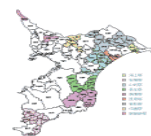




隊友千葉だより



千葉県隊友会事務局

事務所開所時間

月・水・金

10:00~15:00

§ 峰岡山分屯地 基地司令 §



第44警戒隊長兼ねて

峰岡山分屯地基地司令

2等空佐 菊池 隆元

秋晴の候、会員の皆様におかれましては益々ご清祥のこととお喜び致します。

この度、在葉部隊長としてご挨拶の機会を賜りましたので、日頃からの感謝をお伝えするとともに、峰岡山分屯基地について紹介させていただきます。

本年、当分屯基地は、首都圏防空の要として、創設70周年という節目の年を迎えることができました。これもひとえに、長年にわたる温かいご支援と多大なるご理解を賜りました会員の皆様並びに地域の皆様のご厚情の賜物と、心より感謝申し上げます。

振り返りますと、昭和30年4月、第44警戒隊

の前身である第9031部隊が茨城県土浦市から移駐して創設以降、幾多の変遷と困難を乗り越えながら歩みを進めてまいりました。今日に至るまでの70年間は、隊員にとって単なる年月の積み重ねではなく、多くのご縁と皆様からの信頼に支えられた貴重な歩みであります。

当分屯基地で勤務した隊員は、自衛隊の使命を自覚し、首都圏における防空を担う警戒管制部隊の一員として、また、首都圏に展開する高射部隊の重要な通信中継を担う部隊の一員として、身をもって職責を果たしてまいりました。

この度の節目を新たな出発点とし、隊員一同、これまで以上に使命を自覚し、同心戮力、何事にも一体感をもって臨み、なお一層の精進を重ねてまいる所存です。会員の皆様におかれましては、どうかこれからも、変わらぬご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

結びに9月とはいえ残暑厳しい折柄、会員の皆様におかれましてはご自愛專一にてお願い申し上げますとともに、千葉県隊友会の益々のご発展を心より祈念申し上げ、挨拶とさせていただきます。

§ 副 会 長 §



副会長 田中 誠一（元事務官）

「自衛官は国の宝である」

隊友会、防衛省・自衛隊、防衛関係協力諸団体等の皆様におかれましては、例年になく酷暑と残暑の環境下にあっても、益々、ご清祥のこととお慶び申し上げます。

令和6年10月、石破総理は、自衛官の処遇改善等の為の関係閣僚会議を設置し、内閣として自衛官の処遇改善に取り組まれた。その結果、令和7年度予算には、自衛官の処遇改善167億円、生活・勤務環境の改善3,878億円、新たな生涯設計の確立19億円、その他として32億円を計上し、予備自衛官、即応予備自衛官手当及び訓練招集手当も増額された。歴史ある隊舎、庁舎がなくなることにより一抹の寂しさを覚えるが、やとと隊員の生活・勤務環境、予備自衛官の処遇が改善されることに安堵している。しかしながら、自衛官の在り方の根本にかかる議論がされていないのではないだろうか。浜田靖一衆議院議員が平成8年防衛政務次官に着任

されたとき、秘書官である私に「自ら志願、服務の宣誓をし国防の任にあたる自衛官は国の宝であり、自衛隊は国民の財産である。自衛官が国の宝として処遇され、自衛隊が国民の財産として有意に運用されるようにすることが自分としてなすべきことだと考えている。」と述べられた。

平成15年、石破防衛庁長官、浜田防衛庁副長官の胸には「服務の宣誓」があった。自ら志願し、危険を顧みず、身をもって責務の完遂に努め、もって国民の負託にこたえたと宣誓し、国防の任にあたる自衛官に国として答えなければならぬという熱い思いだと考える。我が国を取り巻く安全保障環境は大きく変化し、否応なしに自衛隊に対する国民の期待と信頼は高まっている。処遇改善等だけでなく、自衛官を「国の宝」と尊敬できる日本となることを望む。

隊友会の引越支援サービス

防衛省の隊員に対する引越代が「移動距離による積算から実費支給」に変わり、これを受けて隊友会は引越見積支援サービスを令和2年7月から開始しました。

開始にあたり隊友会理事長と防衛省共済組合本省支部長との協定で組合員の福利厚生の一環として「組合員の異動時の利便性を図る」ことを目的として始めました。

千葉県では松戸駐屯地が令和3年8月の異動に合わせて7月に引越相談会を開始しました。当初は異動者の約6割位が相談会に来ておりましたが、2024問題等による業者の人手不足等で引越見積もりが取れにくい状況から相談会の有効性が認識され、広報活動の効果もあり、現在ではほぼ全員が引越支援を活用している状況です。令和7年から習志野駐屯地、下志津駐屯地でも厚生科の協力を頂き、引越相談会を開催して隊員への支援をより活発に実施しております。この背景には引越業者の積極的なご支援があつてこそ成り立っており、アート引越センター、サカイ引越センター、三八五引越センターは当初から引越相談会には社員を派遣して頂いております。さらに千葉県隊友会の会員・家族等の引越も料金やサービス面でも優遇して頂いております。

令和7年度からは引越見積もりが3社から2社（3社見積もりが執り難い状況からの改善策）に変更され、隊員にとっては負担が大きく改善されました。隊友会も引越業者が2社来て頂ければ有効に相談会が開催でき、内示から異動までの期間が短くても輕易に日程調整ができますので良い方向とっております。

私が引越相談会を薦める目的は3つあります。①「隊員に対する隊友会としての奉仕

とその活動の広報」②勢力拡大の一環として、「現職時に隊友会にお世話になった」と思ってもらい「退官後に隊友会に入会し、活動に参加してもらうこと」③「活動資金の取得」です。コロナ以降部隊への訪問や勧誘・広報活動が制限され、定年延長も含め入会者の減少が続いております。引越相談会であれば部隊・隊員も喜んで協力して頂き、多くの隊員と接する機会が増えます。引越相談会を予定していない基地等でも開催できる環境になっておりますので、ご検討してください。茂木がご支援致します。

理事役 茂木利明



「松戸駐屯地
引越相談会」

【千葉県隊友会事務局】

〒260-0042

千葉市中央区椿森1丁目

26-9

コンラッドビル4階

電話：043-306-2095

FAX：043-306-2096

Eメール

[chibataiyuu@angel.ocn.](mailto:chibataiyuu@angel.ocn.ne.jp)

[ne.jp](http://www.chibataiyuu)

ホームページ

<http://www.chibataiyuu>

会員の皆様、今年の夏は今も酷暑で過ごしにくい日々をお過ごしのこととお察しいたします。今回は「最高の朝の過ごし方」の一例をご紹介します。

1 朝に最適な飲み物

人間は夜寝ているあいだ、自分でも気づかないうちに汗で水分を失っています。(皆様もご存じと思いますが)これを「不感蒸泄」と言います。

朝起きたばかりの体は軽い脱水状態になり、血液がドロドロ。これを解決するためにも、目が覚めたら「コップ一杯の水を飲む」習慣をお勧めいたします。水を飲むことにより胃腸に「目を覚ましなさい」というサインを送ることになると言われております。

朝はモーニングコーヒーの方も多いと思いますが、カフェインには利尿作用があるので、コーヒーだけでは逆に水分が奪われます。朝はタンパク質の吸収が良い時間帯とも言われておりますので牛乳を飲むのも良いと思います。さらに覚醒効果を高める意味では、オレンジやレモン、グレープフルーツ等の柑橘類のジュースも良いです。ただし、糖分を加えた甘いものは飲む頻度や量に注意して下さい。適度に酸っぱいことが良いそうです。レモン等の香りも精神的な疲労を軽減する効果もあると言われております。このため、朝は水、牛乳、柑橘系の飲み物がお勧めとなります。

2 朝食(食事)

へ～！
そうなんだ！

人間の体には体内時計が備わっております。1サイクルが24時間よりもやや長めに設定されているため、放っておくとどんどん後ろにずれていってしまいます。それをリセットするのが日光と朝食と言われております。朝食を消化吸収することで、体は一日の始まりを知ります。

「朝は食欲がない」という人も体内時計を調節するという意味では、何かをちよつとつまむだけでも良いと思います。ここでお勧めの食品が4つあります。①豆腐や納豆などの大豆食品 ②牛乳・チーズ・ヨーグルトなどの乳製品 ③緑黄色野菜、淡色野菜 ④わかめなどの海藻類

これらの食品をバランスよく摂ることにより最高の食事となります。私も努めて実践しております。

さらに認知症等の発症リスクを下げるには「カレーライス(クルクミンが豊富)」が良いと言われております。香辛料の一つに含まれるクルクミンに「抗酸化作用」と「抗炎症作用」が認められており、これが認知症予防に効くと考えられています。加えてカレーに肉や緑黄色野菜、イモ類などの多くの食材を使うことでプラスになります。夏は暑いですがカレーライスの食事が増やして体調管理と認知症予防も含めてこの酷暑を乗り切ってください。会員の皆様お試しください。

理事役 茂木利明

令和7年度理事役会及び前期支部長等会議

令和7年7月5日、令和7年度理事役会・前期支部長会議を千葉市民会館特別会議室において、会長以下県役員13名、支部長等27名の参加を得て開催しました。

会長挨拶に続き、県本部から隊友新聞の購読希望調査結果の報告と今後の予定、市原支部の木更津支部への合併及び引越支援相談会の活動状況を報告しました。

隊友新聞の購読希望調査については、多くの方が隊友会ホームページでの購読を希望される結果になり、7月号から対応しています。

今後も隊友新聞は、紙面による購読又はホームページでの購読の選択は会員の希望により対応いたしますので、事務局まで連絡して下さい。

事務局長 大根 正雄



前期支部長会議

◆八街支部◆

八街支部は「土井利勝ゆかりのお寺・新蔵寺」についてご紹介いたします。

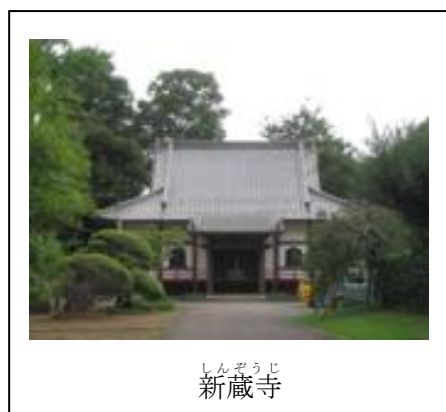
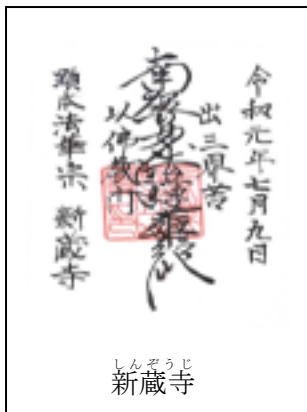
土井利勝(ごいとしかつ)は、安土桃山時代から江戸時代初期の武將で譜代大名。江戸幕府の老中・大老。下総国小見川藩主、同佐倉藩主、同古河藩初代藩主。土井家宗家初代。徳川秀忠政権における老中として絶大な権勢を誇った。

妙立山新蔵寺は、江戸時代の寛永年間(1624～1644年)に創建されたお寺です。

佐倉藩主・土井利勝公が日藏上人に7町歩にも及ぶ広大な寺領を与えて保護し、創建されました。本堂には、土井利勝公の位牌が祀られ、現在でも命日の7月10日には「土井様ひまち」として供養が続けられています。

妙立山新蔵寺の御首題です。

左右の言葉は、妙法蓮華經(法華經)譬喻品第三からの引用文で「仏教の門を以て三界の苦を出でて」と読みます。



妙立山新蔵寺の本堂。内陣には、土井大炊頭利勝公の位牌が安置されています。

八街支部長 岩井 勝己

◆市川支部◆

市川支部は「市川に伝わる手児奈」についてご紹介いたします。

むかしむかし、市川真間のあたりは、真間山のすぐ下まで海だったということです。

当時、このあたりの井戸水は塩けを含んでいましたが、「真間の井」だけは真水が湧き、人々はこの井戸に水をくみに集まりました。その中に「手児奈」という娘がいました。手児奈は、貧しい身なりでしたが都の姫よりも、清く、美しくえました。

娘たちも「手児奈が通る道のアシはね、手児奈のはだしや、白い手を傷つけないようにと、葉を片方しか出さない」とことだよ」と褒めました。

噂は広がり、国府の役人や都からの旅人までやってきては、求婚をするのでした。手児奈はどんな申し出も断りました。そのために、手児奈のことを思っただけで病気になるものや、争いを起こすものもありました。

手児奈は「私の心は、分けることができますが、体は一つ、私はどうしたらいいのでしょうか。私さえないなければ、争いもなくなるでしょう。」と、沈む夕日のように、そのまま海へはいってしまつたのです。

翌日、浜にうちあげられた手児奈のなきがらを、里人は井戸のそばに葬り「手児奈霊堂」を建て祀りました。今では、安産の神として人々がお参りしています。

水くみをしたという「真間の井」は、手児奈霊堂の道を隔てた向かいにある「亀井院」というお寺の庭に残っています。

(『市川の昔話』市川民話の会／編より)



(「楽宴」では全員女性の

手児奈太鼓も活躍しています)

市川支部長 金井 泉寿